

「保険で良い歯科医療を」 全国連絡会が総会

で第11回総会を開催した。東京、千葉、愛知、長野、大阪、兵庫の6都府県の連絡会を含め17都道府県から59人が参加し、自治体意見書の半数以上の採択を目指すことなどの「活動方針」を確認した。

宇佐美宏連絡会副会長は、この間、連絡会が7都府県で結成されたことや、11県議会493市町村議会で「保険で良い歯科医療を求める」意見書が採択された状況を紹介し、「運動の前進をさらに、どう広げていくか、十分な討議を行ってほしい」と訴えた。

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は10月30日、東京・新宿農協会館

口の健康相談』を行ってきた。今年も海外技工問題のシール投票や、チンドン屋さんの参加などで賑やかな宣伝活動を予定している(東京連絡会)。

「市民に口と健康とのかかわりの大切さを知ってもらい、歯科治療の保険の範囲を広げることの大切さを知ってもらう講演会を企画」(長野連絡会)などが報告された。

の交流が深まっていることが紹介された。

大阪連絡会からは、今年5月に結成し、医療関係者だけでなく幅広い団体、個人にも賛同してもらおうよう努力したこと、街頭宣伝や自治体請願、国会議員要請、ニュースの発行などの取り組みが報告された。

新たに連絡会が結成された兵庫連絡会からは、昨年11月の結成後、4回の街頭宣伝行動や市民講演会、近畿ブロック規模での市民集会の開催などに取り組んだ。過半数の自治体で請願への賛同が得られていること、県技

各地からの活動報告では、「国民が医療に対し何を期待しているのかを知り、市民と問題点を共有し運動を進めていくことが大切。その点からも連絡会として保団連が提起した市民アンケートに取り組んでいる」(千葉連絡会)。

毎年11月に浅草で宣伝・署名活動を中心に『お

また、「連絡会の結成に向けて、幅広い団体との共同した取り組みを重視しフォーラムなどを企画している」(宮城)、「昨年取り組んだ保険で良い歯科医療の実現を求める署名が6万筆を越えた。医療従事者、患者、住民と一体となった運動が重要」(愛知連絡会)などの活動報告があった。